

公道でハンドルがないバスの自律走行を実証

ソフトバンク株式会社の子会社である SB ドライブ株式会社（エスビードライブ、本社：東京都港区、代表取締役社長 兼 CEO：佐治 友基、以下「SB ドライブ」）は、自動運転を前提に設計されたハンドルがないバス「NAVYA ARMA（ナビヤ アルマ）」（仏 Navya 社製）の公道での走行実証を目的に、同車両を改造して、このたび、国土交通省関東運輸局長から道路運送車両の保安基準第 55 条による基準緩和認定を受け、車両の新規登録（ナンバーの取得）※1を行いました。

これに伴い、SB ドライブは 2019 年 7 月 3 日から 5 日の 3 日間にわたって、東京都港区のイタリア街で「NAVYA ARMA」の自律走行の実証を行います。この実証では、国土交通省や警察庁に加えて、SB ドライブの共同研究先である東京大学 生産技術研究所 中野 公彦研究室をはじめとする関係各所と検討・協議の上、訓練を受けた運転手（SB ドライブの社員）と、運転手を補助する保安要員が車両に乗車して、緊急時は手動運転に切り替える他、不測の事態に備えるなどの十分な安全措置を取ります。なお、自動運転を前提に設計された車両が、一般車両の進入を制限して専用空間にすることなく公道を走行できるようになったのは、今回が国内で初めて※2です。

「NAVYA ARMA」は、GPS などで自車位置を測定し、3D LiDAR（レーザースキャナー）などで障害物を検知して、あらかじめ設定したルートを低速で自律走行することが可能な車両で、走行速度や車両に設置されたセンサーによる障害物の検知範囲などを、SB ドライブが走行環境に合わせて設定します。走行情報は、SB ドライブが提供する自動運転バス運行プラットフォーム「Dispatcher（ディスパッチャー）」と連携させることが可能で、「Dispatcher」を通して遠隔地から走行の監視や車両の停止・発進、運転手への指示などを行うことができます※3。SB ドライブは、今後も「NAVYA ARMA」の公道での走行実証を行い、自動運転バスの社会受容性の拡大と事業化に取り組んでいきます。

※1 種別：普通、用途：乗合

※2 SB ドライブ調べ

※3 今回の実証では、走行の監視をすることを目的に「Dispatcher」を使用します。「Dispatcher」を通して車両の停止・発進などはいりません。

■使用する「NAVYA ARMA」の概要

乗車定員	11 人（運転手を含む）
動力	電動機（定格出力 15kW×1 基）
車両寸法	全長 4.76m、全幅 2.11m、全高 2.65m
車両重量	2,470kg

■ 「NAVYA ARMA」の外観



- SoftBank およびソフトバンクの名称、ロゴは、日本国およびその他の国におけるソフトバンクグループ株式会社の登録商標または商標です。
- その他、このプレスリリースに記載されている会社名および製品・サービス名は、各社の登録商標または商標です。
- このプレスリリースに記載されている内容、製品・サービスの価格、仕様、問い合わせ先およびその他の情報は、発表日時点のものです。これらの情報は予告なしに変更される場合があります。